

平和商事株式会社 平和商事株式会社

TEL.03-3893-6631 FAX.03-3810-1606
URL <http://www.heiwapack.co.jp>

代表者: 代表取締役 竹前 友勝
所在地: 〒116-0012 荒川区東尾久5-39-17
資本金: 1,000万円
従業員: 11人

創業年: 昭和11年
業種: 紙器製造業
事業内容: 包装用・進物用紙器容器の製造・販売、
包装資材の販売、包装関連用品の企
画・デザイン



竹前 友勝
代表取締役

業歴85年の紙器メーカー

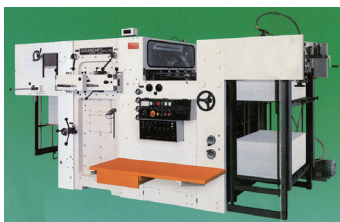
創業 1936 年で、今年 86 年となる紙器の専門メーカー。板紙や薄手の段ボール等を使用した包装用・進物紙器容器を製造・販売している。主な顧客は和菓子・洋菓子店での他、金属部品や化粧品等を入れる函等、多岐にわたる。

現・代表取締役の竹前友勝氏(40歳)は3代目で8年前に事業承継した気鋭の経営者。経験・技術を活かしつつ『中に入るもの(=顧客の製品・商品)が購入され最終消費者にたどり着くまでの価値・質を高めること』が企業理念であると語る。

函(ハコ)は商品の価値を伝えるもの

長年、「化粧函」と呼ばれる函を製造してきた当社は個人経営の洋菓子店などが顧客の中心である。中に入る製品を際立たせるため、シンプルだが質感の良い紙を使用した紙器容器が多い。また、小ロットの既製在庫品に顧客のロゴを箔押しする等、セミオリジナル化出来ることも顧客から支持される要因の一つだ。商品・製品単体では伝えきれない素晴らしさやこだわりのポイントを捉えそれを購入者・消費者まで伝えることが函の役割でもある。

「贈答用で使用される場合に購入する人と買った人がその商品・製品の価値を共有してもらえたら嬉しいです」(竹前氏)。



オートン



製品に箔押しした見本

試作から販売までの一貫体制

社内では、30歳～50歳代の社員が主体となって、函の企画から制作、配送までの一貫体制を敷いている。企画時は、

プロッター(見本作成機)を使用し、函の形状や細かな使い勝手を調整したものを顧客に提案する。顧客の用途や、それを誰が組立てるのか、保管場所等も考慮に入れ、顧客の要望に合わせた函を一緒に作り上げていく。顧客の商品が売れることが函の売上に繋がるため、単発で売っておしまいではなく、継続的に売れるようなサポートをさらに充実させたいと考えている。

函(ハコ)の意味・価値の周知のために

7年程前から、MACCプロジェクト発の「あすめし会」に参画し、地域や異業種交流・産学連携にも目を向け、最近では平成28年度に荒川区と山形大学が連携して行った「金融機関目利き力向上研修」の対象企業になった。

また、東京紙器工業組合の荒川支部理事として、廃業の進む紙器業界において、業界の活性化や企業同士の連携が図れないか、といった課題にも取り組んでいる。

“思いが伝わる”函作り!

『平和の函(ハコ)』は、強く、頑丈で、美しい。「函は、商品そのものでは伝わらないものに、説得力やステータスを与えます。よく“すぐ捨てられるものだ”と言われますが、存在する期間が長かろうが短かろうが、消耗品だろうが耐久材だろうが、その職務(=モノに与えられた使命)を全う出来るなら、その価値を軽視するべきではないと思います。」商品・製品が購入され、消費者へ届くまでを考えた函を平和商事は作り続けていきます。



④主な保有設備

- ・洋紙打ち抜き機(オートン・ミニオートンスーパープレス)
- ・グルアー(糊貼り機)、箔押し機他